



令和3年度

横浜市立生麦小学校

学校だより

横浜市鶴見区生麦4-15-1 学校長 沼田 留美子
<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/namamugi/>



7月(文月)

しぜん ちから 自然の力

こうちょう ぬまた るみこ
校長 沼田 留美子

しょうこうぐち じゃ しず こ みまも まいとし がつ なまむぎ ちく かいさい
昇降口の「蛇」が静かに子どもたちを見守っています。毎年6月に生麦地区で開催される
よこはましむけいみんぞくぶんかざい じゃ か しんじ じっし えきびょうたいさん きがん
横浜市無形民俗文化財「蛇も蚊も」は神事の実施となりました。「疫病退散を祈願して
まわ えきびょう でんしょう じゃ か せっしゅ ほじ
廻り、そのためか、疫病もおさまった」と伝承されている「蛇も蚊も」。ワクチンの接種もようやく始
まり、「疫病」がおさまり、まちに蛇が練りまわる日が戻ることを待つばかりです。

じ き なまむぎしょうがっこう さまざま せいちょう み ねんせい
この時期、生麦小学校では様々な成長をあちらこちらで見ることができます。1年生は、ア
さがいばい みず ねっしん すかた み
サガオの栽培をしています。ペットボトルに入れた水を熱心にまいている姿が見られます。つ
せんじつ ま つ しちゅう た た
い先日は、つるが巻き付きやすいように支柱を立てました。「あのね、こうやると立てやすいよ」
おし あ こえ こうちょうしつ き ねんせい やさい さいばい よねん
など教え合っている声が校長室にも聞こえてきます。2年生は野菜の栽培に余念がありません。
みの うれ しゅうかく しゅうかく きょうしつ
実ったトマトやししとうなどを嬉しそうに収穫しています。収穫はこれからがピークです。教室
まえ そだ じ き く こ ようい ぼう
の前では、プールでとったヤゴを育てていました。ヤゴは時期が来ると子どもたちが用意した棒
のぼ と た ねんせい そだ
をよじ登り、トンボになって飛び立っていきました。3年生はカイコを育てています。ペットボトルに
くわ は い かんさつ こ くわ は た
桑の葉を入れ、おうちでも観察している子もいます。むしゃむしゃと桑の葉をよく食べ、みるみる
おお うつく まゆだま み すこ こべつしえんきゅう せいちょう
大きくなります。美しい繭玉が見られるまであと少しです。個別支援級ではカブトムシが成虫
すかた かんさつ つち で ようす かんたん こえ あ そだ
になる姿を観察していました。土から出てくる様子に感嘆の声が上がっていました。育ててい
どうしよくぶつ とちゅう し にんげん い もの い
る動植物は、途中で死んだり、かれたりすることもあります。人間は生き物から、生きるために
たいせつ まな
大切なことを学んでいます。

いぜんつづ えんぼうしどうじゅうてん そ ち ぎょうじ みなお せいやく せいかつ つづ
依然続く、まん延防止等重点措置により、行事の見直しなど制約のある生活が続いてい
ます。そのような中でも、自然の生き物はいつもと同じように花を咲かせ、実らせ、成長してい
なまむぎしょうがっこう ひ び こ きょうしよくいん まな かさ ひとり じぶん
きます。生麦小学校でも日々子どもたちが教職員とともに学びを重ね、一人ひとりが自分の
せいちょう こんなん ま くふう すす
ペースで成長しています。困難に負けず工夫してできることを進めてまいります。

がつまつ こじんめんだん おこな ほごしゃ みなさま いそが なか がっこう こ
さて、6月末に個人面談を行いました。保護者の皆様にはお忙しい中、学校にお越した
こ せいちょう がっこう かにい ちいき きょうどう か
だき、ありがとうございます。子どもの成長には学校、家庭、地域が協働することが欠かせま
こんげつまつ なつやす はい かにい ちいき こ す じかん ふ
せん。今月末には夏休みに入ります。家庭や地域で子どもたちが過ごす時間が増えます。
あんぜんあんしん せいかつ りかい きょうりよく ねが
安全安心に生活ができますよう、みなさまのご理解、ご協力のほどよろしく申し上げます。